

令和7年度狭山市市営住宅委員会議事録

1 日 時：令和8年2月6日（金）午後2時00分から午後3時00分まで

2 会 場：市役所3階302会議室

3 出席者：○狭山市市営住宅委員

西宮委員、中村委員、藤田委員、小林委員、實委員（名簿順）

○事務局

深澤都市建設部長、濱田都市建設部次長

清水市街地整備課長、石井主幹、杉井主査、佐藤主事、大野主事補

4 傍聴人：なし

5 質問事項等

<議事1「市営住宅の定例募集及び追加募集について」>

～委員質問～

優先入居世帯の要件に障害者が挙げられているが、申込者の中に車椅子使用者がいた際、空き住戸がないために入居できないことはあるか。

～事務局回答～

柏団地、柏原団地、鶯ノ木団地など車椅子用の住戸はあるが、現状は満室になっているため、空きができ次第、順次案内することになる。

～委員質問～

各団地の空室率は。また、空室率が高い理由は。

～事務局回答～

南柏団地、笹井団地、上ノ原団地、柏団地などで空室率が高くなっている。エレベーターがついていない団地や、駅から遠いなど、利便性の低い団地は申込者が少なくなっている。

また、近年は単身高齢者の申込者が多く、エレベーター付きの団地や、低層階に人気集中しており、3階以上で空室率が高くなる傾向がある。

～委員質問～

申込期間が実質5日間となっているが、申込期間以外に申込をしたいという声はあるのか。

～事務局回答～

申込期間外でも申込に関して事前に相談をいただくことはあり、その都度対応し、期間内に申請するようお願いしている。

<議事2「① 狭山市市営住宅東鵜ノ木団地外壁等改修工事について及び
②令和8年度改修工事予定について」>

～委員質問～

市営住宅を見て回った際、ハトの被害が激しい団地があった。ネットを張ったりして対応しているようだが、入居者から希望があればすぐに対応しているのか。

～事務局回答～

昨年、笹井団地からハトによる被害の相談があり、ネットを張った。予算の中で対応できるものであればすぐに対応しているが、大規模な工事を必要とし、費用がかかる場合については、翌年度などに見送ることもある。

<議事3「単身入居可能住宅の追加について」>

～委員質問～

単身者の申込が増加しているとのことだが、独居老人が亡くなった場合、市としてはどのように対応しているのか。

～事務局回答～

亡くなった方の親族を調査し、遺品の整理を依頼している。

また、柏原団地については、居室に通報装置が設置してあり、何かあったときに押すと世話役の方が駆けつけてくれる見守り住宅となっている。柏原団地以外でも、管理人を設けているため、最近見かけない人がいるなど管理人から相談を受け、警察と安否を確認することもある。

～委員質問～

募集に関する周知はどのように行っているのか。

～事務局回答～

広報誌や市公式ホームページに情報を掲載している。また、募集案内を市街地整備課窓口と地区センターで配布している。

また、住宅確保要配慮者に向けた居住支援相談会の中で、市営住宅を希望する方に向けてご案内を行っている。

～委員質問～

単身世帯が入居可能な住宅の追加は、時代の流れに合わせたものと捉えてよいのか。また、単身者の入居を認めることに関する入居者からの意見はあるのか。

～事務局回答～

数年前から増加傾向にある単身者の申込に対応するため、令和5年度に単身者の入居可能な団地として上ノ原団地と笹井団地を追加した。また、令和2年度に市内在勤者の申込を認め、申込要件を緩和している。

入居者に対して、単身者の入居が可能になったことを周知してはいるが、苦情を受けたことはない。